

稲刈り体験で収穫の喜びを味わう

10/13 上高瀬小学校周辺



上高瀬小学校5年生28人が、地域の方の協力のもと、もち米の稲刈り体験を行いました。子どもたちはカマを使って稲刈りをして、刈った稲をわらで束ねました。

収穫したもち米は、お世話になった地域の人たちに配り、おいしく食べる予定です。



▲地域の方が稲の刈り方を教えてくれました



▲“はぜ”に束ねた稲をかけていきます



福祉介護分野における共同送迎サービスの実証事業に係る連携協定を締結

10/5 危機管理センター

市と市社会福祉協議会、ダイハツ工業株式会社の3者は、通所系サービス事業所それぞれが単独で行っている送迎業務を市社会福祉協議会が集約する実証事業を行うにあたり、連携協定を締結しました。実証事業は、主に山本・財田地域で11月2日から1カ月間実施します。

三豊市活性化プロジェクト情報共有会を開催

10/5 危機管理センター

第2次総合計画における市の将来像「One MITOYO～心つながる豊かさ実感都市～」実現のため、市内でAI（人工知能）、交通、観光などのプロジェクトを展開する民間企業や関係機関、学校などが集まり、情報共有を行いました。今回の情報共有によって、地域の課題解決に向けた取り組みがより深化することが期待されます。



▲競技用車いすに乗ってボールのパスに挑戦

▶子どもたちが応援する中、根木さんが実際にシュートを決める様子を披露してくれました



パラスポーツを通じて 違いの素晴らしさを学ぼう

9/18 勝間小学校

勝間小学校5・6年生45人を対象に、日本財団パラリンピックサポートセンターが主催するパラスポーツ体験型出前授業「あすチャレ！ School」が開催されました。シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さんを講師に招き、講話や車いすバスケットボールのデモンストレーション、パラスポーツ*の体験などが行われました。

根木さんによると「障がいとは、みんなの生活の中で困ることであり、作っているのは社会だ」ということです。講話では「顔、体、考え方など、誰一人として同じ人はいない。パラスポーツを通じて、違いの素晴らしさを知ってほしい」と子どもたちに語りかけました。

*パラスポーツ……障がいのある人たちが行うスポーツ

みとよHOT ぼっとNEWS

ほっとニュースは市ホームページでも

三豊市 検索



お茶のふる里で薬膳を学ぼう！

10/1 高瀬町公民館ニノ宮分館

高瀬茶業組合が薬膳の基礎を学ぶ薬膳教室を開催しました。お茶畑が減る中、地域の活性化に取り組むため、今回初めて企画されました。薬膳は、体調や季節に合わせた食事を日々の生活に活かすことで、健康づくりに役立てるものです。国際薬膳師の山下れい子さんを講師に招き、受講生30人が熱心に薬膳について学びました。講習会は来年1月まで、全8回行われる予定です。



薬用作物を活用した料理の試食会を開催！

10/2 マリンウェーブ

薬用作物の普及促進のため、市内で栽培されたよもぎやシソなどを活用した料理の試食会が行われました。地元的生活研究グループや飲食店、笠田高等学校などによって約30品の料理が考案され、関係者が試食して意見を出し合いました。

健康

後期高齢者医療被保険者の皆さんへ

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014/県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎087-811-1866

お薬手帳を持参して相談しましょう
お薬の飲み残しはありませんか。薬の種類、量、使用期限などの確認や、体調や体質などを相談することで、医師と処方調整してくれる場合もあります。お薬手帳を忘れると、医療費（管理指導料）が高くなる場合があります。また、複数の病院で薬を処方されている人は、飲み合わせ（併用禁忌）による相互作用や重複投薬による過量服用などが原因で副作用を起こす恐れがあります。これを未然に防ぐためにも、医師や薬剤師にお薬手帳を確認してもらいましょう。

申請に必要なもの
・ 葬祭を行った人の氏名を確認できる書類（会葬礼状、火葬許可証など）
・ 葬祭を行った人の印鑑
・ 葬祭を行った人の預金通帳など口座番号と名義の確認ができるもの
※ 葬祭を行った人以外の申請・受領の場合には委任状が必要です。
申請先 健康課、各支所

葬祭費を支給しています
被保険者が亡くなったときには、葬祭を行った人に葬祭費を支給していますので、早めに支給申請をしましょう。
※ 葬祭を行った日の翌日から2年を過ぎると時効により支給できませんのでご注意ください。



遊びを通してプログラミングを学ぼう！

9/13 豊中町農村環境改善センター

MAIZUM（みとよAI社会推進機構）による「3歳からのプログラミング体験会」が開催されました。子どもたちはタブレット端末を使って操作するロボットや、手を動かすとカメラが人の動きを認識するゲームなど、さまざまな教材を使いながらプログラミングを体験。おもちゃで遊ぶ感覚で教材に触れられ、プログラミングを身近に感じられる1日となりました。



市内の長寿者を市長が訪問

9/17 市内

今年、市内で数え年100歳以上となる143人（9月15日時点）のうち27人を市長が訪問し、新型コロナウイルス感染対策を講じた上でお祝い金や記念品などを手渡しました。山本町の岩倉ミユキさんは、「誕生日には孫やひ孫、みんなから電話がかかってくる。みんなに会うことが楽しみです。長生きできてよかった」と長寿の喜びを話してくれました。